

連携室だより

NST勉強会のお知らせ

平成 28 年 12 月 20 日(火)「経腸栄養と誤嚥」講師：朝倉 徹
平成 29 年 1 月 25 日(水)「褥瘡関連③」・平成 29 年 2 月 22 日(水)「肥満と栄養(仮)」

17 時 30 分から当院旧職員食堂にて開催予定となっております。
参加ご希望の方は勉強会 5 日前までに地域医療連携室へ FAX または、総務企画課へメールにてお申込ください。



連携の集いのお知らせ

平成 29 年 2 月 17 日(金) ホテルメトロポリタン仙台にて毎年恒例となりました「連携の集い」を予定しております。当院では地域包括ケアシステム構築に向け、登録医の先生方をはじめとした地域の皆様と地域連携を密にすることが必要と考えております。ご多忙中とは存じますが、是非ともご出席賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

後日改めてご案内をご郵送させていただきます。

《医療総合支援部 地域連携室スタッフ》

(医療総合支援部長 副院長兼務)	遠藤 公人
(内科診療部長 兼務)	原 右
(地域連携室長 看護師長)	小野 祐美
(地域連携室 副看護師長)	澤村 弘美
(医療社会事業専門員)	加藤 弘江
(医療社会事業専門員)	南館 郁美
(地域連携室 事務員)	佐藤 桂子
(医事課課長補佐 兼務)	滝澤 佐恵
(医事課係長 兼務)	城下 明子

発行：独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台南病院

仙台市太白区中田町字前沖 143 番 (代表) TEL 022-306-1711 FAX 022-306-1712

地域連携室(直通) TEL022-306-1740 FAX022-306-1741

E-mail:renkei@sendaiminami.jcho.go.jp



【病院の理念】

本院は、地域社会における中核的な先進医療保健施設として、地域医療の充実と国民保健の向上に貢献します。

【病院の基本方針】

1. 急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します。
2. 地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら高齢者にも対応できる幅広い医療を提供します。
3. 個人情報厳格に保護し、診療内容に関しては真実説明で対応します。
4. 全職員が自己研鑽に励みながら一丸となって地域医療に取り組みます。

第一回JCHO健康祭



平成 28 年 11 月 19 日(土)に第一回 JCHO 健康祭を開催いたしました。

ご挨拶

あさくら とおる
院長 朝倉 徹

平素より当院が大変お世話になっております。

去る 11 月 19 日(土)に地域住民を対象として、当院としては初めての JCHO 健康祭を開催いたしました。玄関ホールを使って種々の催し物を用意しましたが、子供からお年寄りまで 100 名ほどの方々が参加され、それぞれに楽しんで頂けたものと思っております。地域の健康づくりに貢献することを掲げる病院としては、今後も定期的開催したいと考えております。

さて加速度的に厳しさを増す医療情勢ですが、厚労省の進める地域医療構想も医療圏毎の病床数見直しの結論が出ようとしております。仙台医療圏は急性期病床の過剰が顕著であることから急性期病床の大幅な削減と回復期及び慢性期病床への転換を求められております。すでに 1 病棟を地域包括ケア病棟に転換した当院にもさらなる病床削減や転換を迫られることにならないか懸念しております。

当院の診療体制に著変はありませんが、循環器内科は東北医科薬科大学からの全面的な支援により PCI などのインターベンションを積極的に行えるようになりました。また毎週金曜日に呼吸器内科の専門外来を開いておりますので、こちらも気軽にご利用いただければ幸いです。

呼吸器外来の紹介



と い ゆきひろ
戸井 之裕

平成 27 年 11 月より金曜日午前に呼吸器内科外来を担当させて頂いております。

普段は仙台厚生病院呼吸器内科で常勤医として勤務しております。

呼吸器内科外来では、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、市中肺炎や急性気管支炎などの呼吸器感染症等の診療を行っています。採血、喀痰検査、胸部レントゲンなどの一般検査を始め、胸部 CT、スパイログラム、6 分間歩行検査などより精密な検査を行うことができ、出来るだけこのような客観的データを用いて適切な診断と科学的根拠に基づいた治療を行うよう心掛けております。肺癌などの腫瘍性病変は診断や治療のために気管支鏡検査や PETCT など専門的な設備が必要になるため、呼吸器専門施設(仙台厚生病院や県立がんセンターなど)をご紹介させて頂いております。また、個人的には間質性肺炎の診療に力を入れております。間質性肺炎の診断や経過観察には、気管支鏡検査や詳しい肺機能検査(肺拡散能)、特殊採血による評価が必要となるため、必要に応じて仙台厚生病院呼吸器内科へ紹介し検査しております。間質性肺炎の中で最も頻度の多い特発性肺線維症(IPF)はこれまで積極的な治療法がなかった難治性疾患です。しかし、近年、抗線維化薬(ピルフェニドン、ニンテダニブ)の国際臨床試験で予測努力肺活量(%FVC)の年間低下率の抑制が示されました。2015年に改訂された国際ガイドラインで IPF に対する抗線維化薬の使用が推奨されるようになり、これまで積極的な治療がなかった特発性肺線維症にも治療介入出来るようになってきております。

入院患者さんにつきましては他科との連携を密に診療を行っておりますが、呼吸器専門病院での治療が必要な場合には速やかに仙台厚生病院呼吸器内科と連携を取り転院対応を取らせて頂いております。

微力ではございますが、地域の皆様の力になれるよう努力して参りますので宜しくお願い申し上げます。

資格：日本内科学会認定医、呼吸器内視鏡学会専門医、抗菌化学療法認定医、ICLS 修了、臨床研修指導医講習会修了

所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本肺癌学会、日本感染症学会、日本化学療法学会、日本呼吸療法医学会

長引く咳・痰にご注意下さい
2週間以上続く咳の原因として下記のような怖い病気が隠れていることもあります。

- ・肺癌
- ・肺結核
- ・気管支喘息、咳喘息
- ・マイコプラズマ感染症
- ・クラミジア感染症
- ・間質性肺炎
- ・非結核性抗酸菌症
- ・COPD
- ・百日咳感染症
- ・アレルギー咳嗽

あれ！？と思ったら、早めの受診をお勧めします。
CTや肺機能などでしっかり検査致します。



新任医師紹介



はらだ あきひろ
外科診療部長 原田 昭彦

平成 28 年 10 月 1 日に 9 年間勤務した国立病院機構仙台医療センターより着任いたしました。19 年前この病院の前身である宮城健康保険病院(当時は長町)と宮城社会保険病院の外科研修医として 2 年間勤務しておりました。当時一緒に仕事をしたスタッフも多く、楽しく仕事をさせて頂いております。

地域の方々には最新の知識や最高の技術で外科治療はもちろん、化学療法、緩和ケア、栄養管理サポートなど幅広い診療を行いたいと考えています。そして患者さんには思いやりを忘れず真摯な態度で向かい合いたいと思います。よろしくお申し上げます。

<所属学会・資格等>

日本外科学会(専門医)、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会、日本消化器病学会、マンモグラフィ読影認定医、乳房超音波講習修了、日本痔瘻学会、宮城県緩和ケア研修会修了、がんのリハビリテーション研修修了、臨床研修指導医講習会修了など

第一回 JCHO 健康祭



去る 11 月 19 日(土) 第一回 JCHO 健康祭を開催いたしました。短い準備期間ではありましたが、アマルティーによる二胡の演奏他、健康講話・相談、体験、展示、放射線、測定(血圧・骨密度・血管年齢)、休憩、キッズコーナーなどの催しがありました。アンケートでも沢山の褒め言葉を頂戴し、良い健康まつりが開催できたのではないかと考えております。第二回 JCHO 健康祭は、開催時期等を考慮し、より一層地域の皆様楽しんでいただければと思っておりますので、ご意見ご要望などございましたら職員へ是非お申し出ください。